■■化学療法投与計画書《CPT-11+BV療法》■■

実施日	

患者番号	性別	身長 cm	
カナ氏名	生年月日	体重 kg	指示医
患者氏名	年齢	体表面積 ㎡	

Rp)ベバシズマブ(アバスチン)　5 mg/kg　点滴静注 Day 1
　イリノテカン(トポテシン)　150 mg/㎡　点滴静注 Day 1　2週毎

本管①

生理食塩液　100mL	1	瓶

レジメンコメント1

レジメンコメント2

側管①　全量100mLに調製

【mL】生理食塩液　100mL		mL
ベバシズマブ		mg
＜腫＞ベバシズマブBS点滴静注400mg:		
＜腫＞ベバシズマブBS点滴静注100mg:		

※

※初回90分　忍容性良好時:2回目60分　以降30分で投与可

側管②

15分

パロノセトロン点滴バッグ 0．75mg50mL	1	袋
デカドロン注射液1．65m	4	管

Day 2,3,(4) デカドロン錠4mg 2錠2x　内服
(8mg/day)

側管③

90分

大塚糖液5%　250mL(5%TZ)	1	袋
イリノテカン塩酸塩水和物		mg
〈腫〉トポテシン点滴静注100mg5mL:		
〈腫〉トポテシン点滴静注40mg2mL:		

≪推奨≫・・・便秘がある場合
※イリノテカン投与前日
　センノシド錠12mg　2錠内服
(理由)胆汁が腸管内に停滞すると、胆汁排泄されたイリノテカンが再吸収される恐れがあるため

＜実施時の注意＞

●イリノテカン
漏出時:直ちに投与を中止し、薬剤を吸引、洗浄し、ステロイドの局注、ステロイドの外用剤で対処する。
光に不安定なので点滴時間が長時間に及ぶ場合には遮光して投与すること。

●ベバシズマブ
高血圧があらわれることがあるので、投与期間中は血圧を定期的に測定し、適切な処置を行うこと。
蛋白尿があらわれることがあるので、投与期間中は尿蛋白を定期的に検査することが望ましい。
ブドウ糖溶液と混合した場合ベバシズマブの力価の減弱を生じるおそれがあるため、ブドウ糖溶液との混合を避け、同じ点滴ラインを用いた同時投与は行わないこと。

＜注意すべき副作用＞

●食欲不振、吐き気　●下痢　●口内炎　●脱毛(頭髪、まつ毛、眉毛など)
●白血球減少　●赤血球減少(貧血)　●血小板減少